

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	F112310102477
設置者名	学校法人 和洋学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門科目	合計		
人文学部	日本文学文化学科	夜・通信	32	0	110	142	13	
	心理学科	夜・通信			69	101	13	
	こども発達学科	夜・通信			66	98	13	
国際学部	英語コミュニケーション学科	夜・通信		10	14	56	13	
	国際学科	夜・通信			8	50	13	
家政学部	健康栄養学科	夜・通信		2	95	129	13	
	生活環境学科 (2026年度入学生のみ)	夜・通信			21	55	13	
	服飾造形学科 (2025年度以前入学生のみ)	夜・通信			30	64	13	
	家政福祉学科 (2025年度以前入学生のみ)	夜・通信			91	125	13	
看護学部	看護学科	夜・通信		0	113	145	13	
AI ライフデザイン学部	AI ライフデザイン学科 (2026年度入学生のみ)	夜・通信		0	10	42	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.wayo.ac.jp/students>
https://www.wayo.ac.jp/application/files/7017/7995/0242/2026_jitumukei

[kennoarukyouin.pdf](#)

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	和洋女子大学
設置者名	学校法人 和洋学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.wayo.ac.jp/application/files/4717/8098/2406/yakuinlist20260601.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元 生命保険会社 社長 現 一般社団法人 理事長	2025. 6. 28～ 就任から4年以内に 終了する会計年 度のうち最終の ものに関する定時評 議委員会の終結の時	財務（資産運用等）
非常勤	現 独立行政法人 職員	2025. 7. 24～ 就任から4年以内に 終了する会計年 度のうち最終の ものに関する定時評 議委員会の終結の時	渉外（広報等）
非常勤	元 和洋学園 後援会会長 現 特定非営利活動法人 理 事長	2025. 7. 24～ 就任から4年以内に 終了する会計年 度のうち最終の ものに関する定時評 議委員会の終結の時	渉外（地域連携等）
（備考）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	和洋女子大学
設置者名	学校法人 和洋学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・人文学部、国際学部、家政学部、看護学部、AI ライフデザイン学部すべてにおいて以下の通りである。 ・授業計画(シラバス)の作成過程 ①12月中旬～1月初旬：Web 入稿システムを利用して、執筆者(担当教員)が入稿する ②1月中旬～1月下旬：第三者(学部長、学科長、研究科長等)が確認する ③1月中旬～2月上旬：担当教員による修正期間(第三者からの指摘事項に対して担当教員が修正することも含め) ・授業計画の作成・公開時期 授業計画の作成は、「シラバス作成のガイドライン」に従って、担当教員が Web 入稿システムを利用して行う。 公開は Web シラバスにて例年3月16日前後に行い、大学保管用に印刷物を作成している。	
授業計画書の公表方法	https://syllabus.wayo.ac.jp/web/show.php
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・人文学部、国際学部、家政学部、看護学部、AI ライフデザイン学部すべてにおいて以下の通りである。 ・全学生に入学時に配付する「履修ガイド」の履修要項の「2 評価、単位および学位認定 2. 評価および単位認定」に評価方法を記載し、全学的な基準を示している。 ・加えて、開講科目ごとに授業計画（シラバス）に【評価方法】を掲載して、ホームページで公開している。なお、授業計画（シラバス）執筆の際のマニュアルには、「どのような観点によって成績をつけ、単位を付与するのか、具体的に記載」することを教員に求めている。 ・また、授業計画（シラバス）には科目ごとに【学位授与方針】の項目があり、学科のディプロマ・ポリシーと科目との対応が掲載されている。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・人文学部、国際学部、家政学部、看護学部、AI ライフデザイン学部すべてにおいて以下の通りである。 ・成績評価、GPA の指標を設定し、全学生に配付の履修ガイド、ホームページに掲載している。 ・GPA は前期、後期の成績通知時に、成績評価に従って算出し、成績評価と共に学生に通知している。なお通知の方法はインターネット（学生ごとにログインする大学のポータルシステム使用）による。保護者宛にも年に2回郵送している。 ・＜GPA の算出方法＞ GPA は、学生が履修した科目の成績の平均を数値で表したもので、年度ごとの GPA と入学時からの通算の通算 GPA の2つの GPA が算出される。本学における GPA の算出式は下記に示すとおりである。 $GPA = ((S \text{ の単位数} \times 4) + (A \text{ の単位数} \times 3) + (B \text{ の単位数} \times 2) + C \text{ の単位数} \times 1) / (\text{履修登録単位数} - \text{履修取り消し単位数})$ ※小数点以下第2位で切り捨て ※評価「認定」は GPA 算出の対象外とする	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://syllabus.wayo.ac.jp/web/show.php
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ・学部・学科ごとにディプロマ・ポリシーを定め、ホームページにて公表すると共に、全学生に配付する履修ガイドに掲載し、周知を図っている。 ・大学情報公表として、卒業要件をホームページにて公表している。 ・大学学則第5節第38条 「第12条に定める修業年限に在学し、別表ウに定める所定の単位を取得した者につき、教授会の議を経て学長が卒業を認定し、学位を授与する。」に定める通り、卒業見込みの学生は、卒業要件の充足状況や学費の納入状況などを記載した判定資料を参考に、3月に行われる学部教授会（判定教授会）の議を経て卒業が認定される。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ディプロマ・ポリシー： https://www.wayo.ac.jp/introduction/mission#diplomapolicy 卒業要件： https://www.wayo.ac.jp/introduction/disclosure

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	和洋女子大学
設置者名	学校法人 和洋学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.wayo.ac.jp/application/files/7317/8228/5092/4.R7taisyakutaisyou2025.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.wayo.ac.jp/application/files/9617/8228/5092/3.R7jigyokatudou2025.pdf
財産目録	https://www.wayo.ac.jp/application/files/3017/8228/5092/5.R7zaisanmokuroku2025.pdf
事業報告書	https://www.wayo.ac.jp/application/files/1817/8243/8678/2025administrativereport0625.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.wayo.ac.jp/application/files/7317/8228/6262/R7dokuritukansaninkansahoukoku2025_1.pdf https://www.wayo.ac.jp/application/files/3417/8228/6262/R7kanjikansahoukoku2025.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 学校法人和洋学園事業計画 対象年度: 2026年度)
公表方法: https://www.wayo.ac.jp/application/files/1417/7761/7213/2026administrationplan-v02.pdf
中長期計画(名称: 学校法人和洋学園中期計画 対象年度: 2026年度~2030年度)
公表方法: https://www.wayo.ac.jp/application/files/4617/7509/6764/mediumtermplan20262030.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法：<https://www.wayo.ac.jp/introduction/disclosure>

(2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：<https://www.wayo.ac.jp/introduction/info#ninteisho>

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人文学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/introduction/mission ）
（概要）人文学部は、人文科学・社会科学の分野において、広く知識を受けるとともに、深く専門の学術を教授し、知的・道徳的及び応用能力を展開させ、もって文化の発展と福祉の増進に寄与する有能な女性を育成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/introduction/mission#diplomapolicy ）
（概要）人文学部は、日本文学文化学科、心理学科、こども発達学科から構成されています。その目的は、複雑で変化の激しい現代の社会に対応できる、教養と専門的な知識および技能、思考力と表現力を備え、自立した女性を育成することにあります。この目的のもとに、以下に示す要件を満たし、卒業に必要な単位を修得した者に学位を授与します。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/introduction/mission#curriculumpolicy ）
（概要）【教育課程編成】 人文学部は、各学科にふさわしい導入科目と基礎科目群を配置します。また、各学科の学問的な専門領域について、体系的な専門科目群を配置します。演習・実技形式の少人数授業による主体的な学びを充実させ、また全学共通の教養科目と専門科目との相互補完的な連携を意識した専門科目群を配置します。 【教育内容・教育方法】 人文学部は、日本文学文化学科、心理学科、こども発達学科から構成され、学科を越えて行われる教養教育との相互補完性のある専門教育を実施します。各学科のカリキュラム編成は、大学 4 年間を通してそれぞれの学科で学ぶための導入科目と基礎科目の学修の後に、専門科目と少人数による演習科目やゼミを配置して、主体的な学びを体得することを目的とします。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページ、学生募集要項）
（概要）和洋女子大学は、「人を支える「心」と「技術」を持って行動する女性」を育成することを目的とし、ディプロマ・ポリシーに定める人材を育成するため次のような学生を求めています。 ①知識・技能 本学各学科の教育の目的・目標を理解し、本学で学びたいという意欲を有する学生 本学各学科の教育課程を履修するための基礎的な学力を身につけている学生 ②思考力・判断力・表現力等の能力 ものごとを深く考え、的確に認識・評価した上で、自分の意見を表現する力を身につけている学生 ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 常に向上心を持って学び、他人と協力・協調し、社会に貢献する気持ちを持っている学生 このような学生を適正に選抜するため、本学では多様な選抜方法により、受験生を多面的・総合的に評価します。 https://www.wayo.ac.jp/introduction/mission#admissionspolicy
学部等名 国際学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/introduction/mission ）

(概要) 国際学部は、異文化コミュニケーションに必要な語学力と、世界の多様な社会文化について認識を深めることで得られる柔軟性などで形成される、グローバルコミュニケーション力を身につけ、異文化交流を促進する事業やグローバルな企業などにおいて活躍する国際感覚豊かな女性を育成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/introduction/mission#diplomapolicy）
(概要) 国際学部は、英語コミュニケーション学科、国際学科から構成され、世界の多様な社会・文化に関する高度な知識とそれにもとづく柔軟な思考力、外国語の実践的な運用能力を身につけ、社会の幅広い分野で活躍できる国際感覚豊かで自立した女性の育成を目的としています。その目的のもと、卒業に必要な単位を修得し、以下に示す能力、知識を身につけた者に学位を授与します。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/introduction/mission#curriculumpolicy）
(概要) 【教育課程編成】 国際学部は、英語コミュニケーション学科、国際学科から構成され、全学的に行われる教養教育と相互補完性をもつ専門教育を行います。各学科の専門教育の教育課程は、国際学部の学部共通科目と、各学科の特色に応じた専門教育科目から編成されています。専門教育科目においては、講義科目に加え演習科目や実習科目を多く配置しています。4年次には「卒業研究」や「卒業論文演習」で学修の締めくくりと専門的な研究を行います。 【教育内容・教育方法】 学部共通科目は、世界の多様な社会・文化を学び、外国語の実践的な運用能力を身につけ、社会の幅広い分野で活躍できる国際感覚豊かで自立した女性を育成するための導入的な教養科目と基礎的な外国語科目から構成されます。各学科の専門教育科目は、各学科の特色に応じ、導入・基礎的な内容の科目と専門的な内容の科目とをバランスよく配置し、段階的に学びを深めます。また、講義科目に加え少人数による演習科目や国内外の実地で学ぶ実習科目も含むことで、実践的に学びを進めます。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページ、学生募集要項）
(概要) 和洋女子大学は、「人を支える「心」と「技術」を持って行動する女性」を育成することを目的とし、ディプロマ・ポリシーに定める人材を育成するため次のような学生を求めています。 ①知識・技能 本学各学科の教育の目的・目標を理解し、本学で学びたいという意欲を有する学生 本学各学科の教育課程を履修するための基礎的な学力を身につけている学生 ②思考力・判断力・表現力等の能力 ものごとを深く考え、的確に認識・評価した上で、自分の意見を表現する力を身に付けている学生 ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 常に向上心を持って学び、他人と協力・協調し、社会に貢献する気持ちを持っている学生 このような学生を適正に選抜するため、本学では多様な選抜方法により、受験生を多面的・総合的に評価します。 https://www.wayo.ac.jp/introduction/mission#admissionspolicy

学部等名 家政学部
教育研究上の目的（公表方法：https://www.wayo.ac.jp/introduction/mission）
(概要) 家政学部は、家政学の分野において、広く知識を授けるとともに、深く専門の学術技芸を教授し、知的・道徳的及び応用能力を展開させ、もって文化の発展と福祉の増進に寄与する有能な女性を育成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/introduction/mission#diplomapolicy）

(概要) 家政学部は、高齢社会、男女共同参画社会、そして持続可能社会の中にあって、生活に対する問題意識と感性を磨き、人々の生活の質(QOL)を向上させ、人々がより幸せに生きられるライフスタイルの実現のために科学的、実践的に行動できる女性の育成を目的にしています。以下に示す能力や知識・技能を身につけ、卒業に必要な単位を修得した者に「学士(家政学)」の学位を授与します。
教育課程の編成及び実施に関する方針(公表方法: https://www.wayo.ac.jp/introduction/mission#curriculumpolicy)
(概要) 【教育課程編成】 家政学部は健康栄養学科、生活環境学科から構成され、2 学科共通の家政学部共通科目と各学科の専門性を高める専門科目を編成しています。専門科目には、基本的な実践的力量を養成し、技術を修得する専門基礎科目と応用力を身に着ける専門応用科目を編成しています。また、4 年間の集大成としての卒業論文または卒業制作を必修科目として編成しています。 【教育内容・教育方法】 家政学を基盤とした専門教育を実施しています。2 学科共通で学ぶ家政学部共通科目は、生活の総合的・科学的・実践的な課題解決能力の育成をめざす教育内容としています。各学科における専門科目は、講義科目に加え多くの実験・実習・演習科目を配置して、高度な専門知識と技術を持った専門家になるための教育内容としています。
入学者の受入れに関する方針(公表方法:学ホームページ、学生募集要項)
(概要) 和洋女子大学は、「人を支える「心」と「技術」を持って行動する女性」を育成することを目的とし、ディプロマ・ポリシーに定める人材を育成するため次のような学生を求めています。 ①知識・技能 本学各学科の教育の目的・目標を理解し、本学で学びたいという意欲を有する学生 本学各学科の教育課程を履修するための基礎的な学力を身につけている学生 ②思考力・判断力・表現力等の能力 ものごとを深く考え、的確に認識・評価した上で、自分の意見を表現する力を身に付けている学生 ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 常に向上心を持って学び、他人と協力・協調し、社会に貢献する気持ちを持っている学生 このような学生を適正に選抜するため、本学では多様な選抜方法により、受験生を多面的・総合的に評価します。 https://www.wayo.ac.jp/introduction/mission#admissionspolicy

学部等名 看護学部
教育研究上の目的(公表方法:https://www.wayo.ac.jp/introduction/mission)
(概要) 看護学部は、看護学の分野において、広く知識を授けるとともに、深く専門の学術技術を教授し、知的・道徳的及び応用能力を展開させ、もって保健・医療や福祉環境及び地域医療の発展と福祉に寄与する有能な看護師を育成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針(公表方法: https://www.wayo.ac.jp/introduction/mission#diplomapolicy)
(概要) 多様化する人々の健康生活のニーズに対応できる看護実践者を育成します。ケアリングの考え方を基盤に看護の専門的知識と高度なコミュニケーション能力を養い、高い倫理観をもって地域に貢献できる人材を育成します。以下の4つの力を身につけ、卒業に必要な所定の単位を修得した者に「学士(看護学)」の学位を授与します。
教育課程の編成及び実施に関する方針(公表方法: https://www.wayo.ac.jp/introduction/mission#curriculumpolicy)

【概要】 【教育課程編成】 多様な共通総合科目と、看護実践に必要な知識・技術を学ぶための「専門教育科目」を配置しています。「専門教育科目」は「専門基礎科目」と「専門科目」で構成され、「専門基礎科目」に「看護とホスピタリティ」、「健康と健康障害の理解」、「健康支援と社会保障」を配置しています。「専門科目」は、看護学の基盤となる「基礎看護」と「地域・在宅看護」を「基盤分野看護学」として配置し、さらに人間の発達・健康段階の看護を学ぶ「発達分野看護学」、公衆衛生、精神をはじめ多様な場での看護を学ぶ「広域看護学」、看護の発展的展開と研究的態度を学ぶ「統合分野看護学」を配置しています。 【教育内容・教育方法】 教科目の年次進行を重視し、基礎から専門へ、人間の成長・発達段階、環境と健康、疾病予防から終末期に至る看護を段階的に学ぶように設定しています。このため「実習科目」は前提科目の修得が必要であり、専門的知識の修得後に実習科目を設定します。これらの教育課程を通して、生涯学び続けていく力を養成します。 入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページ、学生募集要項） （概要）和洋女子大学は、「人を支える「心」と「技術」を持って行動する女性」を育成することを目的とし、ディプロマ・ポリシーに定める人材を育成するため次のような学生を求めています。 ①知識・技能 本学各学科の教育の目的・目標を理解し、本学で学びたいという意欲を有する学生 本学各学科の教育課程を履修するための基礎的な学力を身につけている学生 ②思考力・判断力・表現力等の能力 ものごとを深く考え、的確に認識・評価した上で、自分の意見を表現する力を身に付けている学生 ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 常に向上心を持って学び、他人と協力・協調し、社会に貢献する気持ちを持っている学生 このような学生を適正に選抜するため、本学では多様な選抜方法により、受験生を多面的・総合的に評価します。 https://www.wayo.ac.jp/introduction/mission#admissionspolicy

学部等名 AI ライフデザイン学部 教育研究上の目的（公表方法：https://www.wayo.ac.jp/introduction/mission） （概要）AI ライフデザイン学部は、文学および家政学を学びの基礎の分野とし、豊かで安心が実感できる社会を創造するために生活の基盤となる「衣・食・住」、さらに人とのつながりや内面の倫理を学び、グローバル世界に生きるための知識や技術を備えた女性を育成することを目的とする。 卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/introduction/mission#diplomapolicy） （概要）AI ライフデザイン学部は、学びの基礎となる分野を文学および家政学におき、豊かで安心が実感できる社会を創造するために生活の基盤となる「衣・食・住」さらに人とのつながりや人への支援と人の育成といった表に見える面プラス見えにくい内面の倫理をも統合的に扱います。その学びの中で時間や空間を超えたグローバル世界に生きるために求められる一市民としての知識や技術を備え、その知識や技術を使って日常生活や社会の様々な課題解決に活用できる能力、すなわち社会や個人の暮らしを豊かにする方法を使って社会に貢献し、加えて高いコミュニケーション能力を兼ね備えた自立した女性を育成することを目的としており、卒業に必要な所定の単位を修得した者に「学士（AI ライフデザイン）」の学位を授与します。 教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.wayo.ac.jp/introduction/mission#curriculumpolicy）
--

（概要）【教育課程編成】 AI ライフデザイン学部では、学びの基礎となる分野を文学および家政学におき、それらの分野に広くわたる科目を配置することによって人の生活を外側から見える部分と見えにくい内面的な部分に関する学びさらに人と人との関係についても学びを深めるように科目を展開します。その基礎の上に AI やデジタル技術を学ぶことでそれらの知識や技術を活用してどのように社会に貢献できるのかを各自で考え、それぞれの生きていく社会で新しい価値を創造できるようにカリキュラムを構成しています。 【教育内容・教育方法】 ・既存の学部が展開している人文および家政ならびに保健・健康の科目を広く学ぶことで AI の応用可能な領域の広がりやを体得します。 ・AI やデータサイエンスの分野に関連する基礎的なスキルを身につけ、AI やデジタル技術を扱う際に必要な倫理的な側面での学びも理解します。 ・学生の興味関心に基づいて演習や専門科目を学ぶことによって各自が表現したいメディアを意識しつつ、学びの集大成となる卒業研究への準備をします。 ・実習科目を履修することで理論だけではなく、学んだことを応用する際に必要な技量を体験によって学び、地域社会との結びつきを考えながらその応用を展開するためのメトリックを身につけます。 ・自身のキャリアについて講義やプレゼンテーションを通して理解し、リーダーシップ能力やコミュニケーション能力を身につけると同時に実践への橋渡しをします。 入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページ、学生募集要項） （概要）和洋女子大学は、「人を支える「心」と「技術」を持って行動する女性」を育成することを目的とし、ディプロマ・ポリシーに定める人材を育成するため次のような学生を求めています。 ①知識・技能 本学各学科の教育の目的・目標を理解し、本学で学びたいという意欲を有する学生 本学各学科の教育課程を履修するための基礎的な学力を身につけている学生 ②思考力・判断力・表現力等の能力 ものごとを深く考え、的確に認識・評価した上で、自分の意見を表現する力を身に付けている学生 ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 常に向上心を持って学び、他人と協力・協調し、社会に貢献する気持ちを持っている学生 このような学生を適正に選抜するため、本学では多様な選抜方法により、受験生を多面的・総合的に評価します。 https://www.wayo.ac.jp/introduction/mission#admissionspolicy
--

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.wayo.ac.jp/introduction/disclosure>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	2 人	－					2 人
人文学部	－	16 人	16 人	0 人	6 人	4 人	43 人
国際学部	－	8 人	7 人	1 人	0 人	0 人	16 人
家政学部	－	15 人	16 人	0 人	7 人	21 人	60 人
看護学部	－	8 人	11 人	8 人	1 人	5 人	33 人
AI ライフデザイン学部	－	7 人	2 人	0 人	3 人	0 人	12 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		170 人					170 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.wayo.ac.jp/academics/teacher					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
https://www.wayo.ac.jp/application/files/7917/7560/8640/2025FD_list.pdf							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人文学部	240 人	264 人	110%	960 人	953 人	99%	人	人
国際学部	100 人	91 人	91%	460 人	291 人	63%		
家政学部	230 人	248 人	107.8%	1,100 人	928 人	84%		
看護学部	100 人	113 人	113%	400 人	412 人	100%		
AI ライフデザイン学部	80 人	52 人	65%	80 人	52 人	65%	人	人
合計	750 人	768 人	102.4%	3,000 人	2,636 人	87%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人文学部	223 人 (100%)	1 人 (1%)	208 人 (93%)	14 人 (6%)
国際学部	72 人 (100%)	1 人 (1%)	67 人 (93%)	4 人 (5%)
家政学部	218 人 (100%)	3 人 (1%)	212 人 (97%)	3 人 (1%)

看護学部	91 人 (100%)	0 人 (0%)	91 人 (100%)	0 人 (0%)
合計	604 人 (100%)	5 人 (1%)	578 人 (95%)	21 人 (3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
千葉県・千葉市教育委員会 (教員)、株式会社 LEOC (管理栄養士・栄養士)、三井記念病院 (看護師)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
人文学部	237 人 (100%)	211 人 (89.0%)	10 人 (4.2%)	14 人 (5.9%)	2 人 (0.8%)
国際学部	85 人 (100%)	70 人 (82.4%)	6 人 (7.1%)	8 人 (9.4%)	1 人 (1.2%)
家政学部	244 人 (100%)	208 人 (85.2%)	14 人 (5.7%)	21 人 (8.6%)	1 人 (0.4%)
看護学部	101 人 (100%)	85 人 (84.2%)	9 人 (8.9%)	7 人 (6.9%)	0 人 (0%)
合計	667 人 (100%)	574 人 (86.1%)	39 人 (5.8%)	50 人 (7.5%)	4 人 (0.6%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) ・人文学部、国際学部、家政学部、看護学部、AI ライフデザイン学部すべてにおいて以下の通りである。 ・授業計画（シラバス）の作成過程 ①12月中旬～1月初旬：Web 入稿システムを利用して、執筆者（担当教員）が入稿する ②1月中旬～1月下旬：第三者（学部長、学科長、研究科長等）が確認する ③1月中旬～2月上旬：担当教員による修正期間（第三者からの指摘事項に対して担当教員が修正することも含め） ・授業計画の作成・公開時期 授業計画の作成は、「シラバス作成のガイドライン」に従って、担当教員が Web 入稿システムを利用して行う。 公開は Web シラバスにて例年 3 月 16 日前後に行い、大学保管用に印刷物を作成している。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) ・人文学部、国際学部、家政学部、看護学部、AI ライフデザイン学部すべてにおいて以下の通りである。 ・全学生に入学時に配付する「履修ガイド」の履修要項の「2 試験、単位及び学位認定 2. 評価」に評価方法を記載し、全学的な基準を示している。 ・加えて、開講科目ごとに授業計画（シラバス）に【評価方法】を掲載して、ホームページで公開している。なお、授業計画（シラバス）執筆の際のマニュアルには、「どのような観点によって成績をつけ、単位を付与するのか、具体的に記載」することを教員に求めている。 ・また、授業計画（シラバス）には科目ごとに【学位授与方針】の項目があり、学科のディプロマ・ポリシーと科目との対応が掲載されている。 ・卒業の認定に当たっては、学部・学科ごとにディプロマ・ポリシーを定め、ホームページにて公表すると共に、全学生に配付する履修ガイドに掲載し、周知を図っている。 ・大学情報公表として、卒業要件をホームページにて公表している。

・大学学則第5節第38条 「第12条に定める修業年限に在学し、別表ウに定める所定の単位を取得した者につき、教授会の議を経て学長が卒業を認定し、学位を授与する。」に定める通り、卒業見込みの学生は、卒業要件の充足状況や学費の納入状況などを記載した判定資料を参考に、3月に行われる学部教授会（判定教授会）の議を経て卒業が認定される。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人文学部	日本文学文化学科	124 単位	有	46 単位
	心理学科	124 単位	有	46 単位
	こども発達学科	124 単位	有	46 単位
国際学部	英語コミュニケーション学科	124 単位	有	46 単位
	国際学科	124 単位	有	46 単位
家政学部	健康栄養学科	124 単位	有	(1・2 年) 48 単位 (3・4 年) 44 単位
	生活環境学科 (2026 年度入学生のみ)	124 単位	有	46 単位
	服飾造形学科 (2025 年度以前入学生のみ)	124 単位	有	46 単位
	家政福祉学科 (2025 年度以前入学生のみ)	124 単位	有	46 単位
看護学部	看護学科	128 単位	有	48 単位
AI ライフデザイン学部	AI ライフデザイン学科 (2026 年度入学生のみ)	124 単位	有	46 単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法： https://syllabus.wayo.ac.jp/web/show.php https://www.wayo.ac.jp/introduction/disclosure		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法： https://www.wayo.ac.jp/introduction/disclosure		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：
 施設情報課：和洋女子大学 HP <https://www.wayo.ac.jp/>
 施設キャンパス https://www.wayo.ac.jp/facilities_campus/campus
 資料請求 https://www.wayo.ac.jp/document_request
 資料請求はこちら <https://entry.s-axol.jp/wayo/step0?ef=1>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
人文学部	日本文学 文化学科 1 年	720,000 円	250,000 円	367,300 円	その他は施設費、実験実習料、維持費
	日本文学 文化学科 2-3 年	660,000 円	0 円	360,000 円	その他は施設費、維持費
	日本文学 文化学科 4 年	660,000 円	0 円	320,000 円	その他は施設費
	日本文学 文化学科 1-4 年	0 円	0 円	100,000 円	その他は在籍料(休学・留学:半期のみ 50,000 円、一年分 100,000 円)
	心理学科 1 年	720,000 円	250,000 円	367,300 円	その他は施設費、実験実習料、維持費
	心理学科 2-3 年	660,000 円	0 円	370,000 円	その他は施設費、実験実習料、維持費
	心理学科 4 年	660,000 円	0 円	330,000 円	その他は施設費、実験実習料
	心理学科 1-4 年	0 円	0 円	100,000 円	その他は在籍料(休学・留学:半期のみ 50,000 円、一年分 100,000 円)
	こども発 達学科 1 年	790,000 円	250,000 円	377,300 円	その他は施設費、実験実習料、維持費
	こども発 達学科 2 年	750,000 円	0 円	462,000 円	その他は施設費、実験実習料、維持費
	こども発 達学科 3 年	750,000 円	0 円	412,000 円	その他は施設費、実験実習料
	こども発 達学科 4 年	750,000 円	0 円	332,000 円	その他は施設費、実験実習料
	こども発 達学科 1-4 年	0 円	0 円	100,000 円	その他は在籍料(休学・留学:半期のみ 50,000 円、一年分 100,000 円)
国際学部	英語コミュ ニケーション 学科 1 年	780,000 円	250,000 円	367,300 円	その他は施設費、実験実習料、維持費
	英語コミュ ニケーション 学科 2-3 年	660,000 円	0 円	360,000 円	その他は施設費、実験実習料、維持費
	英語コミュ ニケーション 学科 4 年	660,000 円	0 円	320,000 円	その他は施設費
	英語コミュ ニケーション 学科 1-4 年	0 円	0 円	100,000 円	その他は在籍料(休学・留学:半期のみ 50,000 円、一年分 100,000 円)

	国際学 科 1 年	780,000 円	250,000 円	367,300 円	その他は施設費、実験実習 料、維持費
	国際学 科 2-3 年	660,000 円	0 円	360,000 円	その他は施設費、維持費
	国際学 科 4 年	660,000 円	0 円	320,000 円	その他は施設費
	国際学 科 1-4 年	0 円	0 円	100,000 円	その他は在籍料(休学・留学: 半期のみ 50,000 円、一年分 100,000 円)
家政 学部	服飾造 形学科 2-3 年	700,000 円	0 円	400,000 円	その他は施設費、実験実習 料、維持費
	服飾造 形学科 4 年	700,000 円	0 円	360,000 円	その他は施設費、実験実習料
	服飾造 形学科 2-4 年	0 円	0 円	100,000 円	その他は在籍料(休学・留学: 半期のみ 50,000 円、一年分 100,000 円)
	健康栄 養学科 1 年	840,000 円	250,000 円	467,300 円	その他は施設費、実験実習 料、維持費
	健康栄 養学科 2-3 年	780,000 円	0 円	460,000 円	その他は施設費、実験実習 料、維持費
	健康栄 養学科 4 年	780,000 円	0 円	420,000 円	その他は施設費、実験実習料
	健康栄 養学科 1-4 年	0 円	0 円	100,000 円	その他は在籍料(休学・留学: 半期のみ 50,000 円、一年分 100,000 円)
	家政福 祉学科 2-3 年	700,000 円	0 円	360,000 円	その他は施設費、維持費
	家政福 祉学科 4 年	700,000 円	0 円	320,000 円	その他は施設費
	家政福 祉学科 2-4 年	0 円	0 円	100,000 円	その他は在籍料(休学・留学: 半期のみ 50,000 円、一年分 100,000 円)
	生活環 境学科 1 年	720,000 円	250,000 円	407,300 円	その他は施設費、実験実習 料、維持費
		0 円	0 円	100,000 円	その他は在籍料(休学・留学: 半期のみ 50,000 円、一年分 100,000 円)
看護 学部	看護学 科 1 年	1,050,000 円	250,000 円	597,300 円	その他は施設費、実験実習 料、維持費
	看護学 科 2-3 年	1,050,000 円	0 円	590,000 円	その他は施設費、実験実習 料、維持費
	看護学 科 4 年	1,050,000 円	0 円	550,000 円	その他は施設費、実験実習料
	看護学 科 3 年 (一部の 対象者:	1,050,000 円	0 円	690,000 円	その他は施設費、実験実習 料、維持費

	保健師 課程履 修者)				
	看護学 科 1-4 年	0 円	0 円	100,000 円	その他は在籍料(休学・留学: 半期のみ 50,000 円、一年分 100,000 円)
AI ライフデ ザイン学 部	AI ライフデ ザイン学 科 1 年	720,000 円	250,000 円	467,300 円	その他は施設費、実験実習 料、維持費
		0 円	0 円	100,000 円	その他は在籍料(休学・留学: 半期のみ 50,000 円、一年分 100,000 円)

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 2021 年度に「和洋女子大学の学生支援の方針」を定め、修学支援、学生生活支援、キャリア支援、健康支援の 4 つの柱に基づき学生支援を行っている。具体的には次のとおりである。 教務課：学生の修学支援のため、学科別、学年別に担任教員を、新入学生への支援のため、学科別に少人数グループをつくり、アドバイザー教員を配置し、多面的な学生支援を行っている。 教職課程・資格課程センター事務室：教職をはじめ資格取得を目指す者を中心とした学生が、教材や授業を構想するための T-Room1・2 を開設。模擬授業や教材作成を個人やグループで自主的に行える学びの拠点として、主体的に考え実行できる資格者の養成の一翼を担っている。 学生課：ユニバーサルサポート推進室（教職員・精神保健福祉士・社会福祉士）による障害のある学生等個別の支援を必要とする学生の大学生活や修学に関するサポートを実施している。また、合理的配慮の申し出があった学生について面談を行い、配慮内容を整理の上、担当科目教員等から適切な合理的配慮が受けられるようサポートしている。各種奨学金（学内奨学金、授業料免除制度、特待生制度を含む）の取り扱いを通して学生が修学を継続できるよう経済的な支援を実施。また 2 つの学生寮を完備している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 教務課：共通総合科目に「キャリアデザイン」を開講、就職教育にとらわれることなく、受講生が一個人、一女性として自分らしい生き方を考えるために必要な「知識」「考え方」を論理的、実践的に学べる環境を提供している。 キャリア支援課：キャリア支援課にて、1～2 年次より参加可能な各種資格の対策講座、就職関連セミナーなどを開催。3 年次（一部 2 年次）に学科担当キャリアカウンセラーが学生全員と個人面談を行い各学生の志望や適性を把握。更に 3～4 年次には各業界の有益な情報提供、企業とのマッチング、企業説明会、特別講座などを数多く実施。また、障害のある学生、外国人留学生、卒業生へは個別に支援を行っている。 教職課程・資格課程センター事務室：中学校・高等学校の教員になることを希望している学生に「教職採用試験一次対策講座」「教職採用試験二次対策講座」「時事通信教員採用試験対策講座」等の教員採用試験対策を行っている。 また、共通総合科目に「キャリアデザイン」を開講。就職教育にとらわれることなく、受講生が独立した個人や女性として自分らしい生き方を考えるために必要な知識や考え方を論理的・実践的に学べる環境を提供している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生課：保健センターによる健康診断所見者の事後措置及び保健指導、学内の感染症予防及び感染者の対応、学外実習参加者の検査対応、保健だよりの発行等の啓蒙活動、疾患や障害のある学生の健康管理、適正体重支援、学校行事や各種イベント時の救護などを実施。学生相談室（公認心理師/臨床心理士 2 名）によるメンタル面を中心とした面談を週に 5 日実施。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： キャリア支援課：https://www.wayo.ac.jp/career 教職課程・資格課程センター事務室 https://www.wayo.ac.jp/academics/education_center 教職教育支援センター年報、フォリオ：和洋女子大学司書課程・司書教諭課程年報、国府台：文化資料館・博物館学課程報告等を発刊し成果を公表 研究支援課 https://www.wayo.ac.jp/introduction/disclosure https://www.wayo.ac.jp/introduction/research https://wayo.repo.nii.ac.jp/?page=1&size=20&sort=custom_sort&search_type=0&q=0 （和洋女子大学紀要、和洋英文学、和洋女子大学英文学会誌、/国府台:博物館学課程年報、博士論文は、学術リポジトリにてダウンロード可）

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F112310102477
学校名（〇〇大学 等）	和洋女子大学
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人 和洋学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		468人（288）人	453人（287）人	439人（274）人
内 訳	第Ⅰ区分	397人	379人	
	（うち多子世帯）	（287人）	（287人）	
	第Ⅱ区分	40人	48人	
	（うち多子世帯）	－	（ 0人）	
	第Ⅲ区分	31人	26人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	0人	0人	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				－
合計（年間）				442人（ 274）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当)	—	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	12人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	—	人	人
計	18人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	—	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
G P A等が下位4分の1	12人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	人	人
G P A等が下位4分の1	19人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	—	人	人
計	19人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。